

2025年度 芸術科（美術）シラバス（No. 5）

教科	芸術科（美術）	科目	構成	単位数	2	学年	2
コース	美術科 アート・イラスト・アニメーションコース						
教科書	『高校生の美術 2』（日文）		副教材	なし			
科目の概要	色彩理論の基礎や様々な表現技法を実践しながら、美術の為の基礎知識・技術力を身に付ける。知識・情報を理解しまとめ、技法・技術の取得ができるよう努力する。 合評を行い、自己分析をする。			評価の観点	①知識・技能の習得 造形要素の働きを理解 ②思考力・判断力・表現力の育成 発想を構想・鑑賞 ③主体的に学習に取り組む態度 美術の創造活動の喜び、多様な美術文化に関心を持ち立体的に表現や鑑賞に取り組む		
				評価方法	上記の3つの評価の観点から総合的に判断して評価する。 ・作品 ・提出物、ワークシート ・制作態度など		
				学習方法	知識・情報と技法・技術をバランスよく身につける。 様々な作品を鑑賞し考察する。		
				備考			
授業内容	1 学期 色彩理論の基礎 2 学期 表現技法（モダンテクニック）の実践 3 学期 1、2 学期で習得した色彩理論、表現技法を基に表現の応用力を身につける						

2025年度 芸術科（美術）シラバス（No. 6）

教科	芸術科（美術）	科目	絵画	単位数	2	学年	2
コース	美術科 アート・イラスト・アニメーションコース						
教科書	『高校生の美術 2』（日文）		副教材	なし			
科目の概要	1年次に習得した観察力、描写力、イメージ展開力を更に充実させ、応用力を身につける。合評を行い、自己分析をする。			評価の観点	①知識・技能の習得 造形要素の働きを理解 ②思考力・判断力・表現力の育成 発想を構想・鑑賞 ③主体的に学習に取り組む態度 美術の創造活動の喜び、多様な美術文化に関心を持ち立体的に表現や鑑賞に取り組む		
				評価方法	上記の3つの評価の観点から総合的に判断して評価する。 ・作品 ・提出物、ワークシート ・制作態度など		
	1学期 1年生で習得した描写力、表現力を生かし油彩画やアクリル画等のイメージ表現を通して自己の表現を模索すると同時に、自分自身や他者の作品鑑賞力を深める。 2学期 油彩画やアクリル画等の制作を通して自分自身と向き合い更に自己の表現と画材に対する知識、技術を向上させる。 3学期 絵日記等から発想展開しイメージ表現の表現力、発想力の充実を図る。自分自身や他者の作品鑑賞力を深める。			学習方法	イメージ絵日記等の励行及び、作品鑑賞の機会を増やす。放課後等、自主学習も心掛ける。		
授業内容				備考			

2025年度 芸術科（美術）シラバス（No. 7）

教科	芸術科（美術）	科目	素描	単位数	3	学年	2
学科 ・ コース	美術科 アート・イラスト・アニメーションコース						
教科書	『高校生の美術 2』（日文）		副教材	なし			
科目の概要	本科目は、1年生で培った基本的な観察力と描写力をさらに充実させ、対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し個性豊かで創造的に表す能力を身につけることを目標としている。 様々な描画材を用いたデッサンやクロッキーを通じて、効果的な表現方法を選択し制作の見通しをもって主題を表現する力を養う。 また自他の作品を鑑賞する中で、客観的な視点に立ち冷静に自己分析を行い自他の作品への見方や感じ方を深める。			評価の観点	①知識・技能の習得 造形要素の働きを理解し、意図に応じ表現方法を創意工夫することができる ②思考力・判断力・表現力の育成 基本的な観察力と描写力を応用し、対象や事象を多面的に捉えることができるか ③主体的に学習に取り組む態度 美術の創造活動の喜び、多様な美術文化に関心を持って表現や鑑賞に取り組むことができるか		
				評価方法	上記の3つの評価の観点から総合的に判断して評価する。 ・作品 ・提出物、ワークシート ・制作態度など		
授業内容	1学期 クロッキー、鉛筆デッサンを中心に基本的描写力を身につけ、構成力の充実を図る。 2学期 1学期で身に付けた基本的描写力を更に充実させ、3時間での描きこみの訓練をする。 3学期 モノクロの描写を色に置き換え、着彩での対象の描写を学ぶ。 明度を色彩に置き換え表現方法の応用を学ぶ。			学習方法	自分自身の弱点を重点的に知ることと、長所は伸ばすこと。そして何よりも継続して対象を描くことを心掛ける。		
				備考			

2025年度 芸術科（美術）シラバス（No. 8）

教科	芸術科（美術）	科目	(学) 造形演習 2 年		単位数	2	学年	2
コース	美術科 アート・イラスト・アニメーションコース							
教科書	『高校生の美術 2』（日文）		副教材	なし				
科目の概要	基本的な知識・技術を身に付け、感性を磨き、素材を研究し、1 年次の基礎からより発展した工芸授業（実技）の充実を図る。 自己評価シートなどを基に作品を分析し、発表する。				評価の観点	①知識・技能の習得 造形要素の働きを理解 ②思考力・判断力・表現力の育成 発想を構想・鑑賞 ③主体的に学習に取り組む態度 美術の創造活動の喜び、多様な美術文化に関心を持ち立体的に表現や鑑賞に取り組む		
					評価方法	上記の 3 つの評価の観点から総合的に判断して評価する。 ・作品 ・提出物、ワークシート ・制作態度など		
授業内容	1 学期 土（粘土）、木、布、紙、石等あらゆる素材を研究し、基本的な工芸の力を身に付ける。 道具の扱い方の基礎・応用を知る。				学習方法	素材研究等の励行及び、作品鑑賞の機会を増やす。放課後等、自主学習も心掛ける。		
	2 学期 土（粘土）、木、布、紙、石等あらゆる素材を研究し、基本的な工芸の力を身に付ける。 3 学期 土（粘土）、木、布、紙、石等あらゆる素材を研究し、基本的な工芸の力を身に付ける。 自己の表現を模索すると同時に、自分自身や他者の作品鑑賞力も深める。					備考		